

平成30年度成人歯科健康診査 20歳・25歳の受診状況

1. 受診状況

受診者は、20歳で109人(男60人、女49人)であり、25歳で90人(男41人、女49人)であった。受診率は、20歳で3.2%(男3.5%、女2.9%)であり、25歳で2.8%(男2.4%、女3.1%)であった。月ごとの受診者数は、20歳では8月が最も多く、25歳では毎月同じような受診者数であった。

■ 受診者数 ■

	男性	女性	合計
20歳	60	49	109
25歳	41	49	90

■ 受診率 ■

	男性			女性			全体		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
20歳	1,705	60	3.5%	1,666	49	2.9%	3,371	109	3.2%
25歳	1,688	41	2.4%	1,556	49	3.1%	3,244	90	2.8%

■ 月ごとの受診者数 ■

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
20歳	8	5	6	22	20	5	5	3	9	26
25歳	8	6	6	8	9	6	6	6	8	27

2. 健診結果

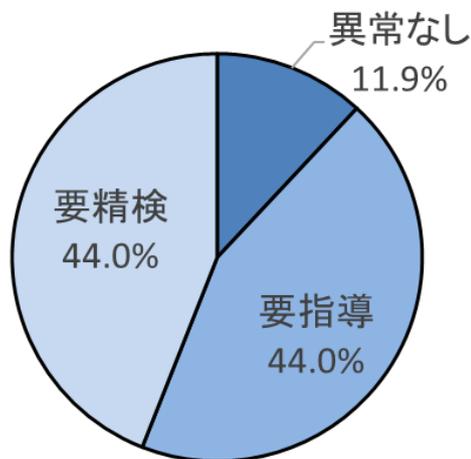
健診結果では、20歳で44.0%、25歳で68.9%が要精検であった。

要精検内容では、20歳で「未処置歯」、25歳で「歯周ポケット4～5mm+未処置歯」と診断された割合が多かった。

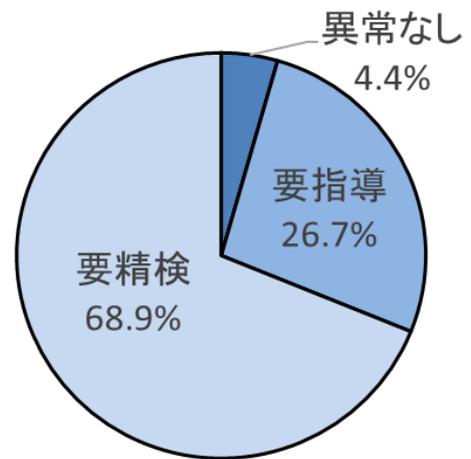
歯周ポケット6mm以上と診断された人も20歳で2.1%、25歳で1.6%であった。

■ 健診結果 ■

20歳

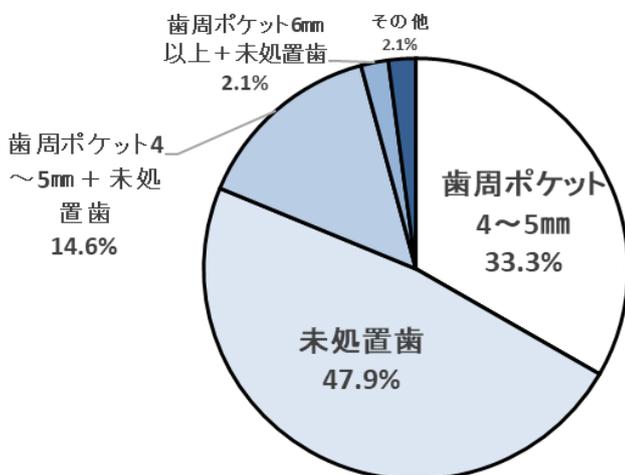


25歳

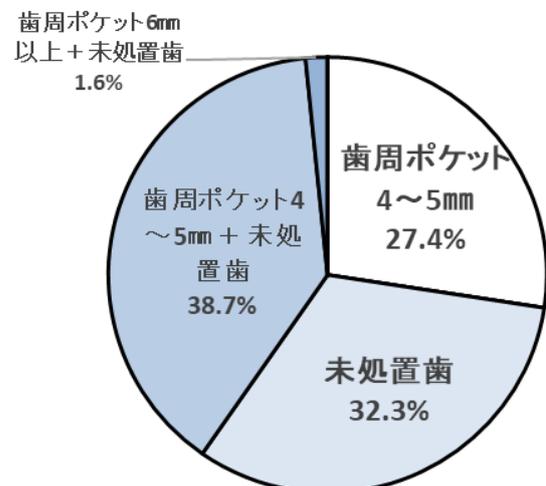


■ 要精検者内訳 ■

20歳



25歳



3. 歯肉の状況

20歳では、歯石付着が最も多く 38.5%、次いで健全が 22.0%であった。

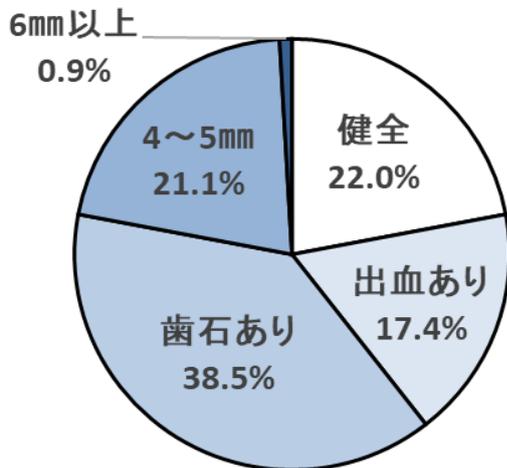
25歳では、歯周ポケット 4～5mmが最も多く 45.6%、次いで歯石付着が 26.7%であった。

※CPI(歯周ポケットの計測)
 0：健全(良好な状態)
 1：出血あり(歯肉に軽い炎症あり)
 2：歯石あり(歯石がついている状態)
 3：歯周ポケット 4～5mmに達する
 4：歯周ポケット 6mmに達する
 ×：除外歯

	人数						
	受診者数	健全	出血あり	歯石あり	4～5mm	6mm以上	除外歯
20歳	109	24	19	42	23	1	0
25歳	90	11	13	24	41	1	0

	割合						
	受診者数	健全	出血あり	歯石あり	4～5mm	6mm以上	除外歯
20歳	109	22.0%	17.4%	38.5%	21.1%	0.9%	0.0%
25歳	90	12.2%	14.4%	26.7%	45.6%	1.1%	0.0%

20歳



25歳

